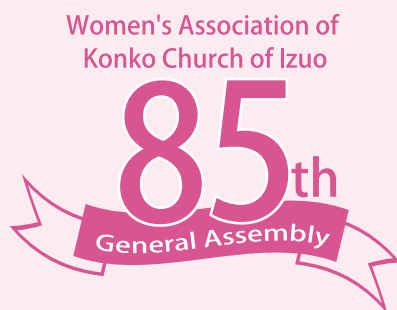


創立85周年記念 婦人大会

あなたと共に 助かり助けよ



平成25年7月15日

金光教泉尾教会 婦人会

●ごあいさつ

皆さま、本日はおめでとうございます。大恩師親先生のお祈りを受け、ご布教の翌年に発足いたしました泉尾婦人会が、創立85周年を迎えました。

この創立85周年は、単に泉尾婦人会の85周年というだけではありません。2010年、親先生の強いお祈りによって始められた御布教八十五年記念大祭迎いの五百日信行と、その御礼の五百日信行とを合わせた三年千日間に及ぶ行願が円成する日でもあります。

特に、今年一年間は、ご布教八十五年に懸けられた尊い御神願に対する御礼の「信心実践をする年」と頂いております。私たちが、こうして創立記念大会を開催させていただいている間も、ご霊地金光町では、泉尾教会控所の建設工事が作業員の方々が額に汗を流して進行中であります。

「実践」とは、「誰の目にも見える」あるいは「形となって現れる」ということであります。生活の場面で申せば、「努力はしていますが、結果が伴ってきません」では、実践とは言えないのです。信心でも、「有り難いとは思っていますが…」というだけでは不十分なのです。お願いされたことがおかげとなって実現し、その有り難い助かりの姿を見た方が、「私もそのようにさせていただこう」と助かりの輪が次々と広がっていくような信心でなければ、「実践信心」とは言えません。

「実践信心」とは、今、ご霊地で建設中の控所のように、日に日に「形になって現れて」こなければなりません。それは、あたかも小さかったわが子が年々成長してゆくようなもので、たとえそこに苦労や困難があったとしても、母親としては、そのことが何ものにも代え難い自分の喜びになるのではないのでしょうか？泉尾婦人会の「台人道」とはまさにこのことかと存じます。皆さん、信心建設にいつそう報恩感謝の真を尽くさせていただこうではありませんか。



金光教泉尾教会
婦人会連合会長

三宅孝子

《私たちの誓い》

創立八十五周年記念の今大会こそ、信心建設の好機とさせていただき、本日の大会を吉祥に、恵まれていたことを再認識し、祈られている自覚を持って、喜びに満ちた報恩感謝の信心生活をさせていただきます。

人の喜びをわが喜びとし、人の悲しみをわが悲しみとさせていただいて、「あなたと共に、助かり助けよ」のモットーで、お道引きに励みます。

親先祖の霊様を感謝の心でお祀りし、喜びの生き方を子に孫に伝える信心相続を願います。

世界の現状に目を向け、困窮する人々の苦勞共有する「一飯を捧げる運動」に取り組むと共に、教祖百三十年大祭目指して、泉尾教会に懸けられた御神願成就の先頭に立たせていただきます。

●記念講演講師プロフィール

西川ヘレン

にしかわ・へれん●1946年、京都市生まれ。

1963年、吉本興業に所属し、吉本新喜劇の人気女優として活躍。

1967年、タレントの西川きよし氏と結婚。以後、タレントの妻、3人の子どもの母として家族を支えながらタレント活動を続けてきた。

この間、実母、義父母と40年以上同居し、多重介護を経験。現在はタレント活動に加え、大家族の中での様々な出来事を通しての体験をユーモアを交えて語る講演活動を行い、「家族を何より大切に」という思いに共感が広がっている。

主な著書：『幸せの鐘が聞こえる』『西川ヘレン&かの子のおいしい和風レシピ』（主婦と生活社）『ヘレンのもう、いや！多重介護奮戦録』（小学館）『泣いて笑ってみおくとて 大家族・西川家の多重介護』（小学館文庫）



●プログラム●

感謝祭

記念式典

- ◎ 開会宣言
- ◎ 会長挨拶
- ◎ 連合会長挨拶
- ◎ 表彰
- ◎ 花束贈呈
- ◎ 親先生お言葉



- ◎ 記念講演

『女の夢、妻の願い、母の祈り…
わたしの人生ドラマ』

講師 西川ヘレンさん



- ◎ 大会宣言
 - ◎ 万歳三唱
 - ◎ 閉会宣言
-
-